

## 研究計画概要

助成年度・種別	2017年度 一般研究助成
研究代表者	大久保智生
所 属	香川大学
研究テーマ	防犯ボランティアと店舗の連携による安全・安心まちづくりに関する研究
研究計画概要	<p>本研究の目的は、防犯ボランティアと店舗の連携による安全・安心まちづくりの効果について検討を行うことである。まず、防犯ボランティアを対象とした調査を行い、その課題を抽出する。その後、調査結果に基づいて、モデル団体の選定と活動支援プログラムの開発を行い、活動を支援していく。一定期間経過後に、連携による効果について検証を行う。</p> <p>地域防犯活動は、ボランティアが中心となっているが、その活性化には地域との連携、特に地域の店舗との連携が重要になる。店舗での防犯ボランティアの見回りによる店内犯罪の抑止から防犯ボランティアの集合場所などで店舗を利用することまで、様々な連携のあり方が考えられるが、こうしたボランティアと店舗の連携においては、店舗の地域防犯への理解が不可欠である。現在、香川県では、地域における犯罪の抑止を推進するため、「安全安心まちづくり推進店舗」の認定事業を推進している。これは、店舗の地域貢献を謳っており、地域の防犯ボランティアと店舗をつなぐ事業といえる。今回はこの事業に参加している店舗を中心とした地域ボランティアの活性化、店舗の防犯への効果、地域の防犯への効果について、検証を行っていく。</p>
選考委員からのコメント	<p>本格的な調査研究であり、かつ数段階に分けてのインタビュー・アンケート・実践調査等多種多様な調査が予定されています。こうした複数組合せ調査ではチームメンバー4名の一致協力体制が必要ですし、協力機関・組織との連携が必要です。研究者としてだけでなく、コーディネーターとしての能力も問われています。</p>